広報
KOUHOU MIBU

壬生
MIBU

No.489
2月号
2000

惣社今井バイパスが開通

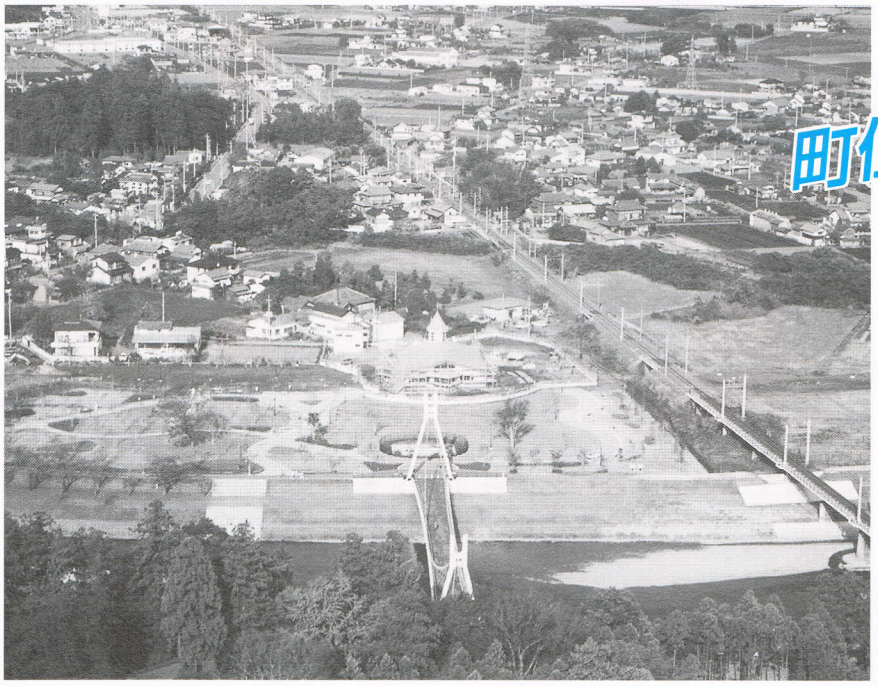
平成５年から整備が進められ、一日も早い完成が待たれていた主要地方道宇都宮栃木線、惣社今井バイパスが２月９日開通しました。

［写真は稲小児童による鼓笛隊を先導に行われた渡り初めの様子］

主な内容

●住民意識調査結果　2～7
●すこやか子育て支援制度の紹介　8
●チャイルドシート購入費の補助　9
●資源ごみ報償金交付制度の紹介　10
●郵便局での町税の口座振替スタート　10

発行／壬生町役場　〒321-0292　栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　編集／総務部企画財政課広報広聴係　☎0282-81-1814　毎月23日発行
ホームページアドレス http://www.t-cnet.or.jp/~mibu/



町住民意識調査から

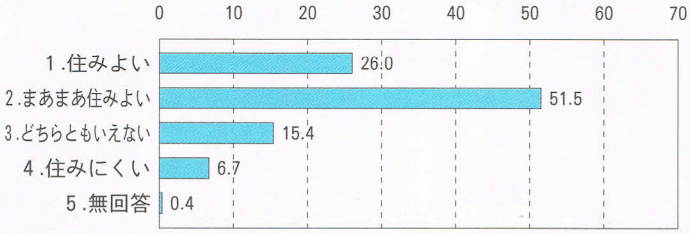
夢と活力にあふれた緑園都市〝みぶ〟をめざして

今回、21世紀のまちづくりの指針となる「壬生町第４次総合振興計画・後期計画（計画期間平成13年度～17年度）」を策定するにあたり、住民のみなさんの生活環境や行政に関する意見、要望等をお聞きするため、「壬生町住民意識調査」を９月に実施しました。調査は、無作為抽出による町内在住の20歳以上の方（1,500名）への郵送配布・郵送回収により実施しましたが、その結果がまとまりましたので、概要等についてお知らせします。

（有効回収数 956件・回収率 63.7％）

1 住みごこちについて

問 あなたにとって、現在の壬生町の住みごこちについてはいかがですか。



住みごこちとその理由

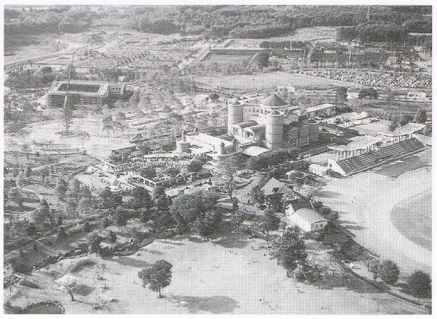
現在の壬生町の住みごこちについてたずねたところ、「まあまあ住みよい」が51.5％で最も多く、「住みよい」（26.0％）と合わせ“住みよい”とする人は77.5％と７割以上を占めました。

また、住みよいとした人にその理由をたずねたところ、「病院・医療施設が整っているから」が50.9％で最も多く、ついで「自然環境に恵まれているから」（47.5％）となりました。

一方、住みにくいとした人にその理由をたずねたところ、「いろいろな施設が整っていないから」が46.9％で最も多く、ついで「買い物に不便だから」（28.1％）となっています。

定住意向

定住意向については、「永く住みたい」が43.8％で最も多く、これに「なるべく住みたい」（33.9％）を合わせ“住みたい”とする人は77.7％となっています。

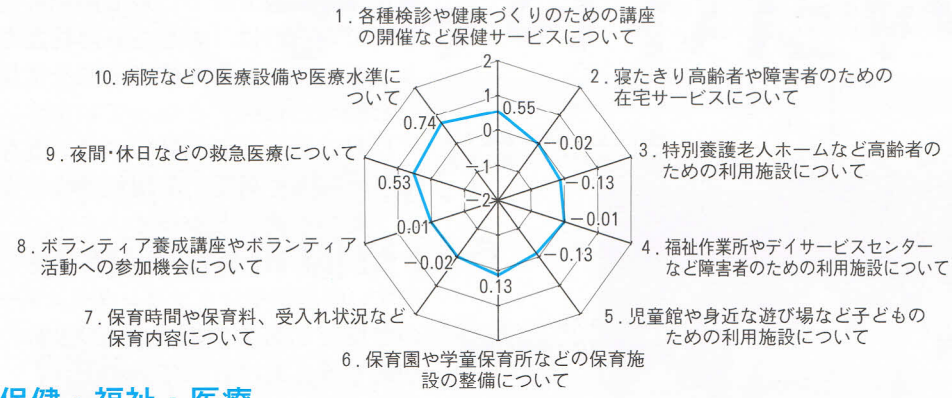


2 生活環境評価と施策の評価 今後の要望について

※生活環境評価の見方

住んでいる地域の暮らしやすさをどのように感じているか、「満足している」から「不満である」までの結果を加重平均によって点数化しました。（点数が高いほど満足しており、逆に低ければ不満であるということになります。）

問 あなたは、本町の保健・福祉・医療についてどのように感じていますか。



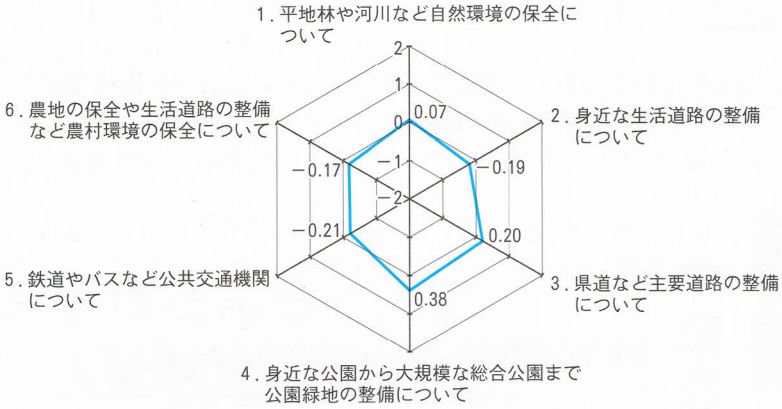
保健・福祉・医療

保健・福祉・医療分野で最も高い評価を得ているのは「病院などの医療設備や医療水準について」で、ついで「各種検診や健康づくりのための講座の開催など保健サービスについて」となっています。

反対に評価が低いのは「特別養護老人ホームなどの高齢者のための利用施設について」と「児童館や身近な遊び場など子どものための利用施設について」となっています。

今後の要望としては、「特別養護老人ホームなどの高齢者のための利用施設について」(42.8%)と「寝たきり高齢者や障害者のための在宅サービスについて」(40.4%)があげられており、高齢者に対する施策の推進を強く要望していることがうかがえます。

問 あなたは、本町の自然環境や都市基盤の整備状況についてどのように感じていますか。



自然環境・都市基盤の整備

自然環境・都市基盤の整備状況で、最も高い評価を得ているのは「身近な公園から大規模な公園まで公園緑地の整備について」で、ついで「県道などの主要道路の整備について」となっています。

反対に最も評価が低いのは「鉄道やバスなど公共交通機関について」で、ついで「身近な生活道路の整備について」となっています。

今後の要望としては、評価の低かった「身近な生活道路の整備について」(42.1%)と「鉄道やバスなどの公共交通機関について」(35.7%)があげられています。

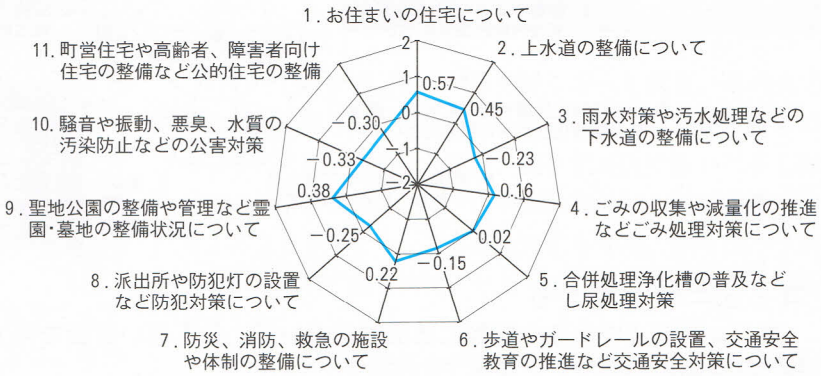
生活環境の整備

生活環境の整備状況で、最も高い評価を得ているのは「お住まいの住宅」で、ついで「上水道の整備について」となっています。

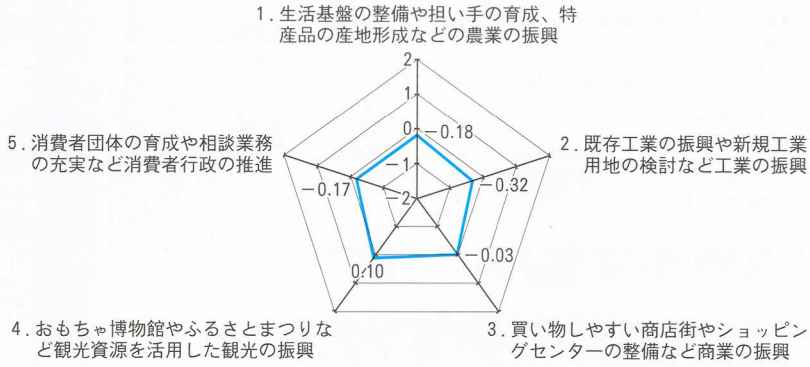
反対に、最も評価が低いのは「騒音や振動、悪臭、水質の汚染の防止など公害対策」となっており、ついで「町営住宅や高齢者、障害者向け住宅の整備など公的住宅の整備」となっています。

今後の要望としては、「騒音や振動、悪臭、水質汚染の防止など公害対策」(31.5%)が最も多く、ついで「雨水排水や汚水処理などの下水道の整備について」(27.1%)があげられています。

問 あなたは、本町の生活環境の整備状況についてどのように感じていますか。



問　あなたは、本町の産業振興についてどのように感じていますか。



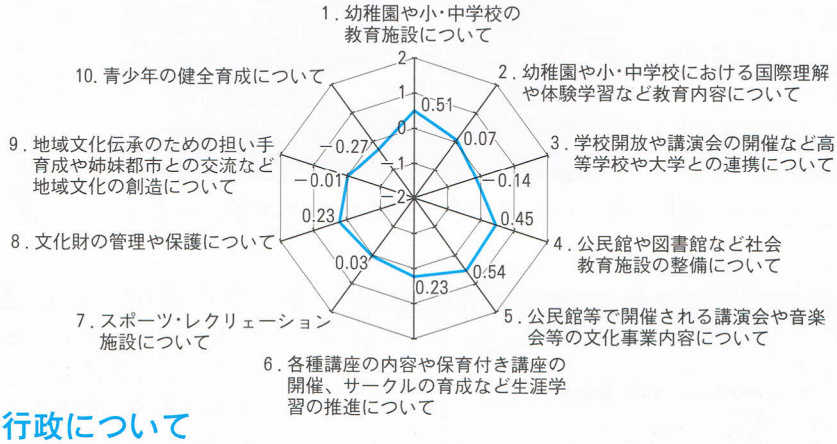
産業の振興

産業の振興分野で、最も高い評価を得ているのは「おもちゃ博物館やふるさとまつりなど観光資源を活用した観光の振興」となっています。

反対に最も評価が低いのは「既存工業の振興や新規工業用地の検討など工業の振興」となっています。

今後の要望としては、「買い物しやすい商店街やショッピングセンターの整備など商業の振興」（37.9％）が最も多くあげられています。

問　あなたは、本町の教育・文化行政についてどのように感じていますか。



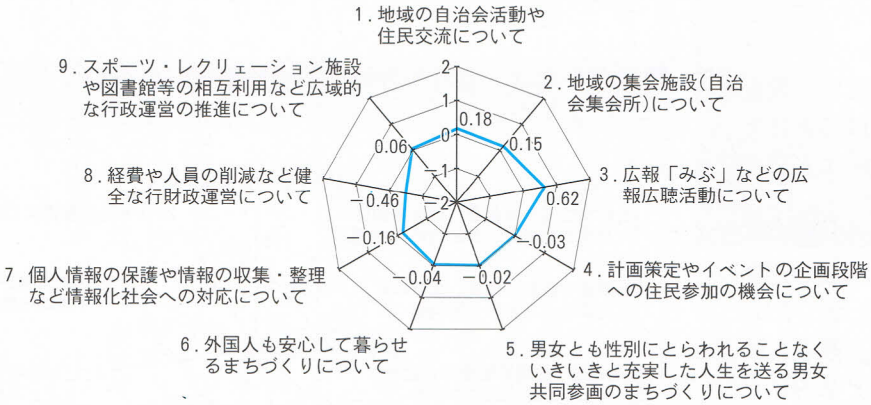
教育・文化行政について

教育・文化行政について、最も高い評価を得ているのは「公民館等で開催される講演会や音楽会等の文化事業の内容について」で、ついで「幼稚園や小・中学校の教育施設について」となっています。

反対に最も評価が低いのは「青少年の健全育成について」で、ついで「学校開放や講演会の開催など高等学校や大学との連携について」となっています。

今後の要望としては、評価の低かった「青少年の健全育成について」を約半数（49.0％）の人があげており、青少年に対する何らかの施策展開を強く要望していることがうかがえます。

問　あなたは、本町のコミュニティづくりや広報広聴活動などについてどのように感じていますか。



コミュニティづくり

コミュニティづくりや広報広聴活動について、最も高い評価を得ているのは「広報みぶなどの広報広聴活動について」となっています。

反対に最も評価が低いのは「経費や人員の削減など健全な行財政運営について」となっています。

今後の要望としては、評価の低かった「経費や人員の削減など健全な行財政運営について」を約4割（43.7％）の人があげており、町の行財政改革を強く要望していることがうかがえます。

3 日常生活における外出先や身近にほしい施設について

日常生活における外出先

食料品の買い物から音楽や演劇鑑賞まで、あらゆる行動についてその外出先をたずねました。

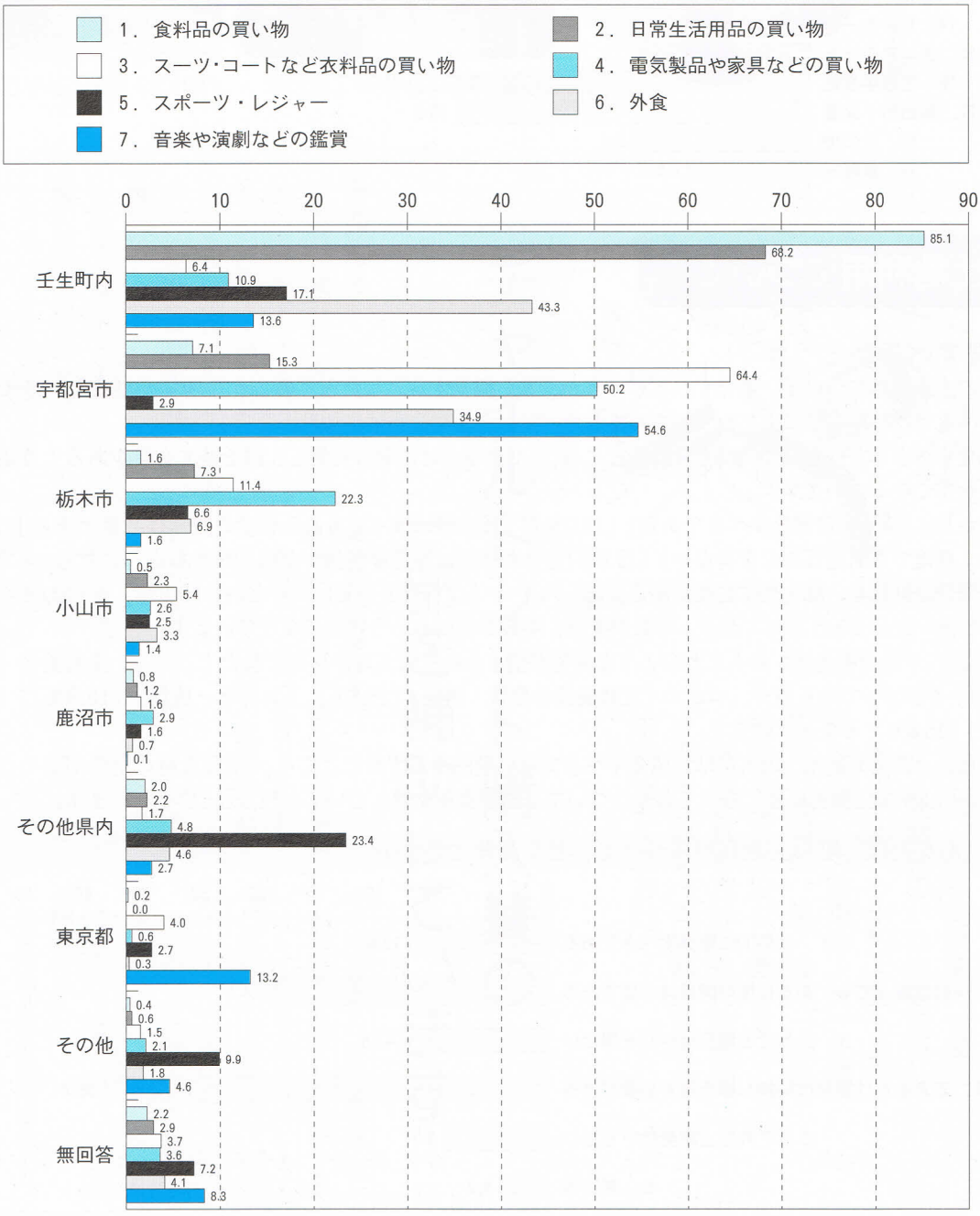
食料品の買い物については、「壬生町内」とする人が圧倒的に多く、85.1％と８割以上を占めました。日常生活用品の買い物についても「壬生町内」とする人が圧倒的に多く68.2％となっています。

次にスーツ・コートなど衣料品の買い物については、「宇都宮市」とする人が64.4％と圧倒的に多くなっており、また電気製品や家具などの買い物についても「宇都宮市」が50.2％となっています。

スポーツ・レジャーについては「宇都宮市」が29.0％で最も多く、ついで「その他県内」（23.4％）、「壬生町内」（17.1％）となっています。

外食については、「壬生町内」が43.4％で最も多く、ついで「宇都宮市」が34.9％となっています。そして、音楽や演劇などの鑑賞については、「宇都宮市」が54.6％で最も多く、「壬生町内」は13.6％と２番目になっています。

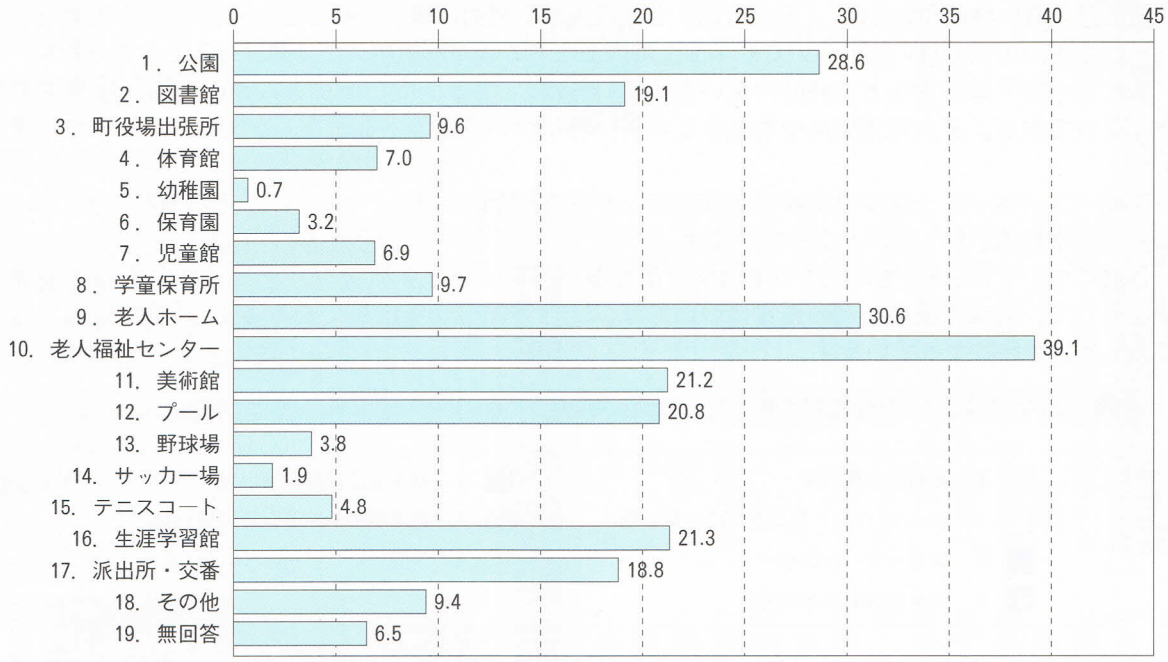
問　あなたは、次の行動について、主にどちらにでかけますか。



身近にほしい施設

住んでいる地域にほしい施設についてたずねたところ、「老人福祉センター」が39.1％で最も多く、ついで「老人ホーム」(30.6％)となっており、これは前回の調査（平成６年に実施）よりも増加しており、高齢者のための施設を要望する声が高くなってきています。

問　あなたが住んでいる地域の中に、今後はどのような施設が欲しいですか。



4　土地利用について

開発すべきかどうか

町の土地利用について、開発すべきかどうか、また開発するとしたらどのような開発が望ましいかや、開発すべきでない理由についてたずねてみました。

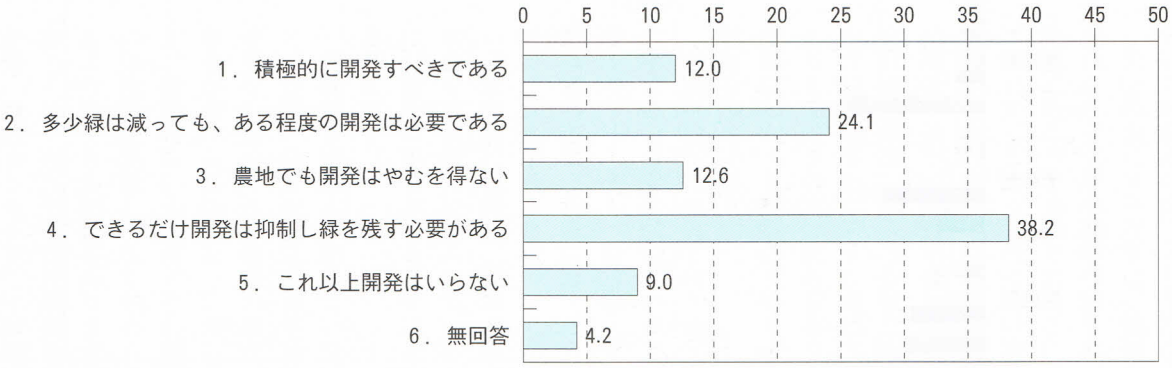
開発すべきかどうかについてたずねたところ、「できるだけ開発は抑制し、緑を残す必要がある」が38.2％で最も多くなっています。

しかし、「積極的に開発すべきである」(12.0％)、「多少緑は減ってもある程度の開発は必要である」(24.1％)、「農地でも開発はやむを得ない」(12.6％)を合わせた“開発推進派”が48.7％であるのに対し、「できるだけ開発は抑制し、緑を残す必要がある」(38.2％）と「これ以上開発はいらない」(9.0％）を合わせた“開発抑制派”が47.2％となっており、半数が推進、半数が抑制という状況になっています。

そこで、“開発推進派”の人にどのような開発が望ましいと考えるかをたずねたところ、「住宅開発（低層住宅)」が27.5％で最も多く、ついで「文教施設の整備・誘致」(16.8％)、「レジャー施設」(15.9％)、「商業開発」(15.5％）となっています。

さらに“開発抑制派”の人には、開発すべきでない理由をたずねたところ、「貴重な緑の空間がなくなるから」が44.8％で圧倒的に多くなっており、ついで「田園風景を残したい」が14.2％となっています。

問　あなたは、町の土地利用について、どうお考えですか。

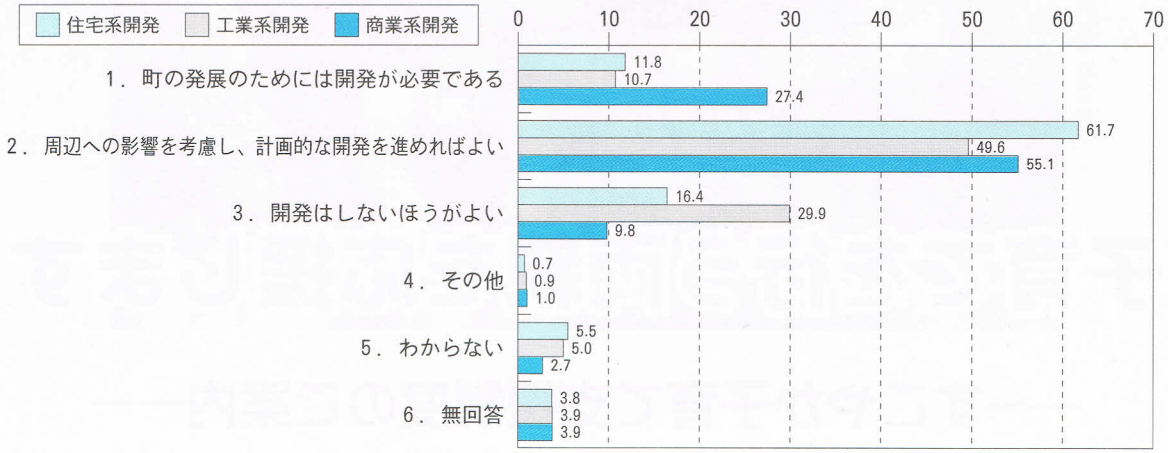


住宅、工業、商業系の開発

住宅、工業、商業系の３つの区分により、開発についてどう考えるかをたずねました。

３区分による開発については、いずれも「周辺への影響を考慮し、計画的な開発を進めればよい」という回答が多くなっていますが、工業系の開発については、「開発しないほうがよい」との回答も29.9％と約３割を占めています。

問　あなたがお住まいの地区で、住宅団地などの住宅系・工業団地などの工業系・ショッピングセンターなどの商業系の開発がされるとしたらどう思いますか。



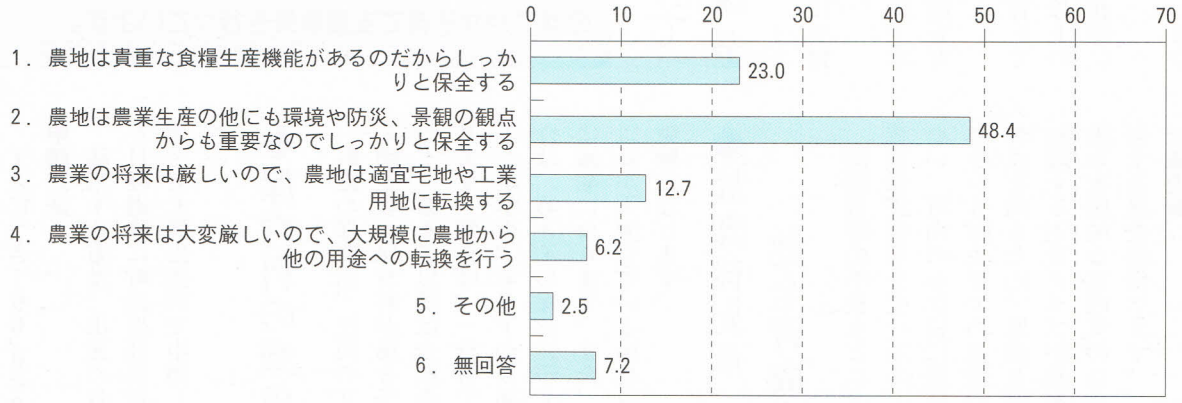
農地や山林の利用

農地や山林の利用についてどのように考えているかをたずねました。

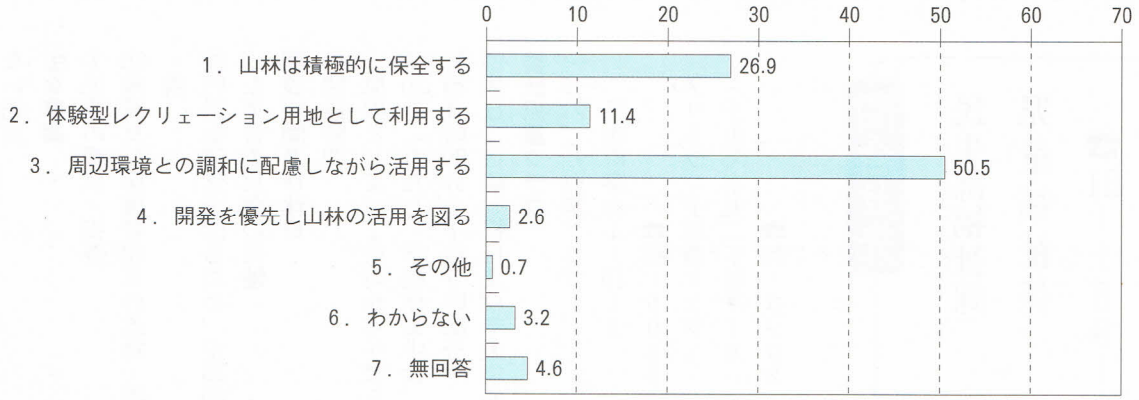
農地については、「農地は農業生産の他にも環境や防災、景観の観点からも重要なのでしっかりと保全する」が48.4％で最も多く、ついで「農地は食糧生産機能があるのだからしっかりと保全する」が23.0％となっており、農地の保全を考えている人が約７割を占めています。

また、山林については、「周辺環境との調和に配慮しながら活用する」が50.5％で最も多く、ついで「山林は積極的に保全する」が26.9％、「体験型レクリエーション用地として利用する」が11.4％となっています。

問　あなたは、町の農地についてどのようにお考えですか。



問　あなたは、町の山林についてどのようにお考えですか。



（1月29日児童館で行われた節分会で）

子育てを行う両親を応援します

――すこやか子育て支援制度のご案内――

町では、21世紀を担うお子さんの健やかな成長を願うとともに子どもを安心して生み育てることができるよう、少子化時代に子育てを行う両親への支援策として「すこやか子育て支援金」や「第3子以降の保育料減免」、「放課後児童対策」などのすこやか子育て支援事業を行っています。

◆すこやか子育て支援金

受給要件

次のすべてに該当した方に交付されます。

①第3子以上の出産の日前に、本町に引き続き1年以上住所を有している方

②現に2人以上の児童を養育していること、または、2人以上の児童を養育している事実状態にあると認められること

③第3子以上を出産し、かつ3か月以上養育していること

支援金額

1人につき100,000円

申請方法

該当する方は、出産の日から3か月経過後に町民生部福祉課、稲葉・南犬飼出張所で申請してください。

◆保育料の減免

町立の保育園、民間の2保育園入園児童の保育料が第3子が2分の1、第4子以降は全額免除になります。例えば、一世帯で、第1子が小学生、第2子が入園児の場合は、第3子の保育料が2分の1に減額になります。また、第4子以降が入園している場合は、全額免除になります。

◆放課後児童健全育成事業

保護者等の不在などにより、下校後保護指導を受けることのできない、町内の小学校に通学する1年生～3年生までの児童の健全な育成を図るため、児童と保護者で組織する児童クラブが基本的な習慣を家庭的な雰囲気のなかで、学習する場を提供します。

対象児童

町内の小学校に在籍する1・2・3年生の児童で、下校後家族が留守のため保護者の指導を受けられない児童

主な事業

①児童の育成・指導

②地域及び保護者相互の連絡・提携

③円滑な運営を図るため、定期的な運営委員会の開催

開設時間及び休日

◎開設時間

原則として、下校時から午後5時30分（ただし、学校休業中は、午前8時30分～午後5時30分）

◎休日　日曜、祝日及び年末年始

委託児童クラブ

・どんぐり児童クラブ
壬生町落合1－15－5
☎83－5019

・メリーランド児童クラブ
壬生町本丸二丁目7－8
☎83－0992

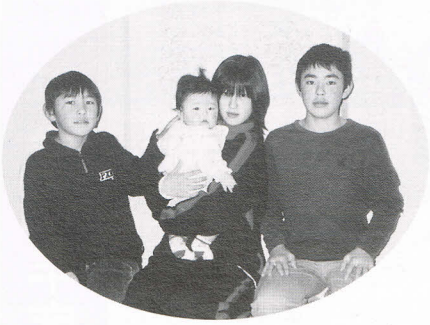
問合せ先

民生部福祉課
児童福祉係
☎81－1831

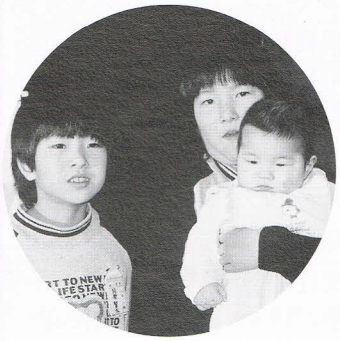
すこやかベビー・ご家族紹介

このたび「すこやか子育て支援金」の対象となられました〝すこやかベビー・ご家族〟に登場していただきました。

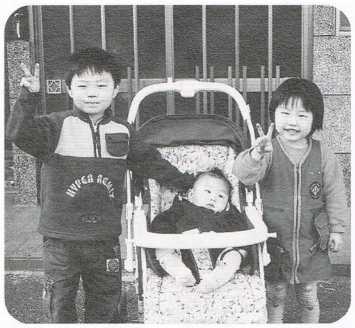
小林桃子ちゃんご家族（安塚二）



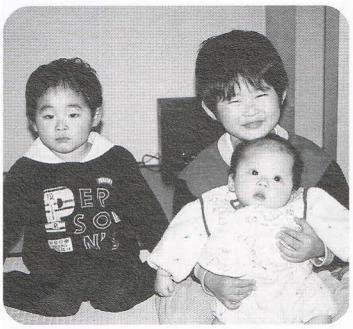
石塚勇樹ちゃんご兄弟（下馬木）



猪原陽平ちゃんご兄弟（六美町北部）



桑川龍二ちゃんご兄弟（助谷）



西尾和貴ちゃんご兄弟（北小林）

チャイルドシート購入費の一部を補助しています

町では、少子化対策の一環として、乳幼児のいる家庭で新しくチャイルドシート（乳・幼児用シート・児童用シート）を購入される際に、購入費の一部を補助することになりました。

該当される方は、町民生部福祉課又は稲葉・南犬飼出張所へ申請してください。

チャイルドシート着用は大人の責任です

●補助対象者

(1)保護者（養育者）及び乳幼児が町内に住所を有する者

(2)乳幼児が6歳未満の者

(3)安全基準に適合するチャイルドシート（中古品を除く。）

●補助額

(1)乳幼児1人につき1台に限る。

(2)購入価格（消費税を含む。）の1／2（100円未満切捨て）1台につき20,000円を限度とする。

●申請に必要なもの

(1)領収書（品名、製品番号等の記載されたもの）又はレシート等（店名及び品名の記載されたもの）

(2)品質保証書その他チャイルドシートの製造元、品名等が確認できる書類

(3)預金通帳（申請者〔保護者〕本人のもの）

(4)印鑑

※平成11年度に限り以前購入し、領収書等が紛失した場合であっても、申請を受け付けします。ただし、車に装着しているチャイルドシートを確認のうえ、また、小売店に購入価格及び安全基準に適合しているか確認させていただきます。

●問合せ先

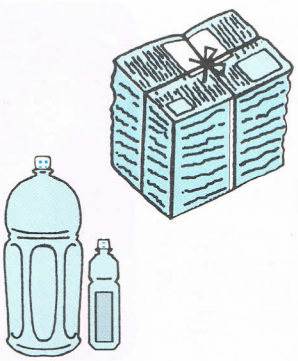
民生部福祉課児童福祉係

☎81－1831

平成12年度も実施します

資源ごみ回収運動にご協力いただいた団体に、回収報償金を交付しています。

平成12年度も実施しますので、あなたの地区でも回収運動を始めてみませんか。



資源ごみ報償金交付制度

◎資源ごみ回収

資源ごみ（新聞、雑誌などの古紙類、空きビン、アルミ、銅類、鉄くず、布類など）一回の回収で500キログラム以上を共同集荷し、回収業者へ売却した団体に、回収重量1キログラムにつき5円と1回の回収で3千円の報償金を交付します。

◎ペットボトル回収

1回の回収で200本以上を共同集荷した団体に、1リットル以上のペットボトルは、1本につき4円、1リットル未満のペットボトルは、1本につき2円の報償金を交付します。（平成12年度から変更）

◎団体とは

町内の自治会、婦人会、子供会育成会、老人クラブなど、これに類するもので、規模がおおむね10世帯以上の営利を目的としない団体

◎協力団体の届出

毎年度、第1回目の資源ごみ回収時までに「資源ごみ回収団体届出書」を町に提出してください。

◇問合せ先

町民生部保健課☎81－1834
清掃センター　☎82－3424

郵便局での町税の口座振替 4月1日からスタート

今年4月1日から、町税の口座振替が、これまでの町内の民間金融機関に加えて、郵便局からもできるようになります。ただし、窓口納付はできません。

口座振替できる税金は

町県民税（普通徴収）・固定資産税・都市計画税・軽自動車税及び国民健康保険税

振替はいつから

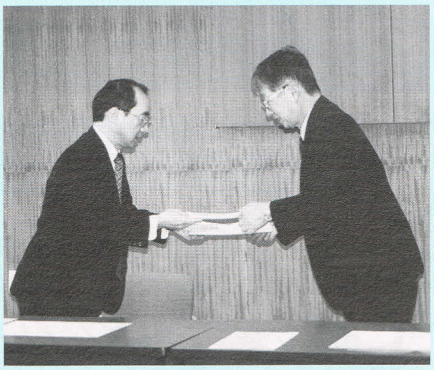
申込月の翌々月の納期分から振替開始

申込手続きは

お近くの郵便局、または税務課及び稲葉・南犬飼出張所にある「町税自動払込利用申込書」に必要事項を記入・押印のうえ、郵便局へ提出してください。

必要なもの　・郵便貯金総合通帳
・通帳に使っている印鑑（届出印）

問合せ先　町税務課収税係　☎81－1816



小林壬生郵便局長と協定書を取りかわす清水町長

国民年金あれこれ

親の世代の老後を支え 自分の老後に備えるために

20歳からの義務 国民年金の加入

日本に住む20歳以上60歳未満の全ての人は、国民年金への加入が義務づけられています。20歳を迎えたばかりの皆さんは、「年金」なんてまだまだ先の話と思うかもしれませんが、実は、若い世代にとっても、身近で大切なものなのです。

国民年金は、働く世代が納める保険料でその親の世代の生活を支え、自分たちの老後はその子どもの世代が支えるというように、世代と世代の支え合いによって成り立つ公的年金制度です。少子化・高齢化が進んでいる現代社会では、もし、公的年金がなかったら、両親の生活費を負担したり、自分の老後に備えて貯蓄したりすることは、今よりもずっとたいへんになります。公的年金制度は、そうした個人の負担を軽くし、子どもの世代みんなで親の世代を扶養するという仕組みになっているのです。

公的年金のメリットは、物価の変化に応じて年金額が改定され、生涯にわたって支給されるということです。また、老後に受け取る老齢年金だけでなく、加入期間中に病気やけがで障害が残ったときには障害年金、加入者が死亡したときには残された妻子に遺族年金として支給される仕組みもあり、生涯にわたって家族の安心を守る柱となっています。

国民年金への加入手続きは、町の年金窓口で受け付けています。学生やフリーター、自営業・その配偶者の方は、20歳になったら自分で、加入手続きを行ってください。20歳前に就職し、職場の厚生年金や共済組合に加入している人は、新たに手続きする必要はありません。

保険料をきちんと納めていないと、将来、自分が受け取る年金額が少なくなったり、最悪の場合、年金が受けられなくなったりします。所得のない人には、その期間の保険料を免除し、後で納められるようにできる制度もあります。詳しくは、町民生部住民課国民年金係（☎81－1827）へお問い合わせください。

まちのわだい

永遠の平和を願い 新年平和祈願祭行う

あいさつする三上会長

町慰霊碑管理委員会主催の新年平和祈願祭が1月3日、東雲児童公園内の慰霊碑前で行われました。

この日は、関係者約70人が参列、三上会長、来賓の清水町長の挨拶に続いて、全員で焼香し、先の大戦で祖国の礎となって尊い命を捧げた英霊に、今日の平和と発展を感謝し、この平和が永遠に続くよう願いました。

手塚さんら4人に 人命救助の感謝状

左から手塚和子さん、手塚吟子さん
足助由美子さん、手塚彦一郎さん

鯉沼の農業手塚彦一郎さん、同足助良平さん、同手塚和子さん、同手塚吟子さんの4人に、町内で発生した交通事故で乗用車の下敷きになった人を救助したということで、1月24日栃木警察署長から感謝状が贈られました。

第51回成人式 旧交を温めあう

593人が大人の仲間入りをしました

1月9日、第51回壬生町成人式が中央公民館で行われ、593人が大人の仲間入りをしました。

この日、新成人たちは、久し振りに友人と会い、旧交を温めあいました。

また、華やかな雰囲気に包まれた会場では、式典が行われ、清水町長をはじめ来賓のお祝いの言葉の後、成人者を代表して、菊地奈津子さんが新成人としての抱負を述べました。

式典後、アトラクションの抽選会が行われ、数々の賞品に会場は拍手と歓声に包まれていました。

無病息災祈る 羽生田地区でどんど焼き

門松やしめなわ、ダルマ等を持ち寄って焼き、その火で焼いたもちを食べると、病気にならないという、伝統行事の一つ「どんど焼き」が1月10日、羽生田地区で行われました。

この行事は同地区では、14年前に復活し、町で推進しているふるさとルネッサンス事業の指定も受け、羽生田小学校西側の田んぼに、高さ約18メートルの竹製の櫓を設置して行われました。

この催しには、地域の子供たちや父兄など約150人が参加、米の粉を丸く練って作った「繭玉」を、木の枝の先につけて、火で焼いて食べ、一年間の無病息災を祈りました。

ただいま活動中 ⑨

「愛の鈴」に祈りを込めて

壬生町 交通安全母の会

無事故を願って「愛の鈴」を作っています

私たち交通安全母の会（田中ミヨ会長）のめあては、まず会員や家族が事故に遭わぬよう心がけ、そして交通安全について家族と話し合い、さらに地域の方々も交通事故に遭わぬよう積極的に啓蒙運動を推進して事故ゼロを目指します。そこで、

ア　毎年母の会と、自治会との共催で、高齢者や幼児を守る交通安全教室を開催してきました。もう13年間続いている地区もあります。最近は「ヒヤリ地図」（ヒヤッとしたことのある危険箇所に赤のシールをはる）を作り、事故防止に役立てています。

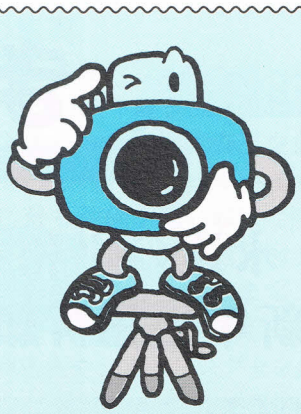
イ　毎年9月初めの炎天下、交通事故防止全国キャンペーンキャラバン隊を迎えます。大勢の会員が参加し、安全旗をもって沿道歓迎しています。

ウ　春秋の県民総ぐるみ交通安全運動や交通安全町民大会に積極的に参加してきました。又、栃木地区における、年末の交通事故防止パレードでも協力しています。

エ　毎年「交通事故防止スポーツのつどい」や視察研修を開催しています。会員相互のコミュニケーションと交通安全意識の高揚を図っています。

オ　交通事故防止「愛の鈴」を作り、町内小学校新入学全児童にマスコットとして贈っています。登校時、家族の「気をつけて行ってらっしゃい。」の言葉をこの愛の鈴の音で思い出し、事故に遭わぬようにとの祈りを込めました。贈呈前に安全祈願をしています。

車社会の世の中、交通安全を願い交母会の活動は続きます。



みんなの広場

皆さんのご応募をお待ちしています!

がんばれ 社会人（No. 5）

壬生町 商工会 石井美奈子さん

商工会は、主として各町村の商工業者の総合的改善発展を図り、併せて社会一般の福祉の増進に資することを目的として設立された「特別認可法人」です。そして、地域商工業者の経営支援などの経営改善普及事業と地域の活性化を図る地域総合振興事業を実施している経済団体です。

今回は、その壬生町商工会に勤務する石井美奈子さんを紹介いたします。石井さんは、今年7月、人事異動により石橋町商工会から壬生町商工会に記帳専任職員として勤務することになりました。現在、商工会では会員さんの納税のための正しい記帳方法などを指導する仕事を中心に毎日頑張っています。仕事に対する姿勢は誠実で研究熱心、常に前向きに取り組んでいる姿は好感を持つことができます。でも、壬生町商工会に勤務して間がなく、千名以上の会員の顔を覚えるのも大変な様子。しかし、実は生まれも育ちも壬生、幼馴染みも多く、仕事に馴れるのも早いと思います。一方、趣味は、旅行、映画観賞、料理と幅広く、特に料理は「休日はお菓子を作ったりする」というほどの腕自慢。家庭的な面もある才色兼備の女性です。

今は「一日も早く、会員の方々に自分を覚えてもらい、職場に、仕事に馴れたい。」とは本人の弁。税務申告、記帳方法などでお困りの方は非声をかけてください。

紹介者　同僚

とっておきの名人⑨

「切り絵」とともに歩む

安塚一　岩崎　武五郎さん

独学で「切り絵」制作を始めた岩崎さんは、目下切り絵の先生として南犬飼地区コミュニティーで希望者に指導しています。10代の頃からの日本画や洋画の経験が役に立ち、スケッチ、彩色、原画作り等、全て一人で手掛けています。

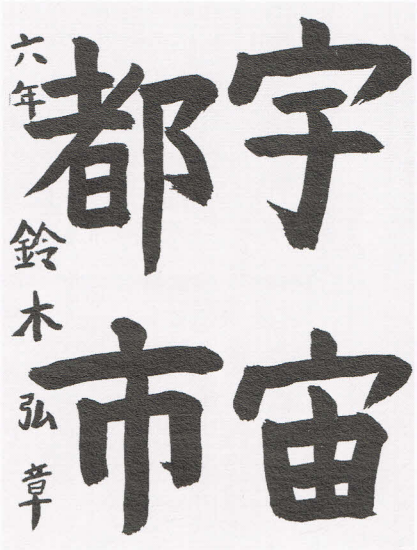
昭和62年の全国きりえコンクールでは2点が入選し、両作品を通して新人賞に選ばれました。他にも宇都宮きりえサークル展等にも出品していました。現在は体調を崩しているため、作品展への応募はしていないそうですが、生徒に指導のかたわら自主制作で、花や風景、物語の絵等を作っています。

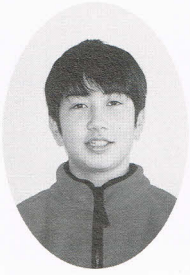
切り絵は版画と同じような雰囲気ですが、1枚の版木で何枚もの絵を刷るのとは違い、原画1枚につき1点限りの作品なので、とても趣があり、作る楽しみが沸いてくるとのことです。細かい絵の方が切る時に時間がかかりますが全体的には簡単だそうです。しかし糊付けで失敗する時もあり、また1からやり直しだそうです。

岩崎さんの作品は、おもちゃのまち郵便局と南犬飼郵便局のロビーに常時展示してありますので、ぜひご覧ください。

切りすぎないよう真剣に

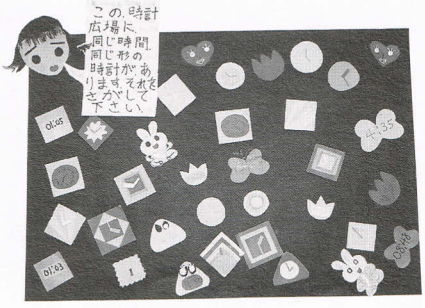
私の作品





壬生東小6年
鈴木　弘章（ひろあき）

壬生東小6年
玉田　恵美（めぐみ）



「同じものはどれとどれ」

文芸

文化協会文芸部選

短歌

パート帰りの農家の主婦が
スーパーの買物篭に野菜も入れぬ　伊沢　克明

久々の雨に庭土黒ぐろと
朽ちる枯葉に水仙の青　渡辺真夕美

寝そびれて深みたる夜に降り初（そ）めし
久しき雨の音に聞き入る　山田　良次

千両の替りに活（い）けし南天の
赤生（い）きいきと玄関にあり　上野カヅ子

俳句

ままごとのほどの七草たたきけり　高橋　田鶴

松すぎてほっとひとりの生姜（しょうが）湯　石原　早苗

息（いき）白くかけだす赤のランドセル　鈴木　文二

幼名に呼ばれふりむく松の内　奥村　トシ

壬生ゆかりの作家たち

～作家のこの一枚(9)～

『史（ふみ）』（1999年）春の院展
茂木辰也（1952－）
145.5×70.5cm　作家所蔵

1952　壬生町生まれ
1971　第25回栃木県芸術祭奨励賞受賞
1972　第26回栃木県芸術祭奨励賞受賞
1977　東京芸術大学日本画卒業
1979　第３回北関東美術展（栃木県立美術館）
1985　第40回日本美術院春季展に初入選
　　この年より日本美術院に出品を続ける
1986　第71回日本美術院展に初入選
1989　日本美術院院友に推挙される
1990　第44回栃木県芸術祭日本画審査員
1991　第45回栃木県芸術祭日本画審査員
1995　第10回国民文化祭栃木県実行委員会日本画委員
　　現在、日本美術院院友
　　栃木市在住

寄付

◆社会福祉協議会へ
（○数字は寄付回数）

田崎　武雄様①	16万円
匿名	5千円
しゃぼん壬生店様⑥	3千円
高木　一受様①	5千円
芳舞歌会様①	3千円
㈱県南環境様㉘	2万円
am・pm壬生本丸店様⑲	4千383円

3月の納税等

●国民年金（3月分）
（納期限　3月31日）
納期限間際は、納付窓口が大変込みあいます。早めに納付しましょう。

まちのうごき

2月1日現在

総人口	39,914 人	（△3）
男	19,701 人	（△3）
女	20,213 人	（　0）
世帯数	12,950 世帯	（　9）

（　）内は前月比

訂正

広報壬生1月号7ページ、「平成10年度決算報告」のなかで、水道事業の金額が誤っておりました。正しくは、収益的収支・総収益額5億5，455万5千円、総支出額4億9，206万6千円、純利益6，248万9千円です。お詫びして訂正いたします。

平成11年度歳末たすけあい運動ご協力ありがとうございました

歳末たすけあい運動にご協力いただき、誠にありがとうございました。

集まった募金は、民生委員さん等を通じて、要援護の家庭やひとり暮らしのお年寄りの方などへお届けしました。

募金総額　2百6万7千565円

内訳

○自治会募金
130万5千200円

○預金利息
163円

○篤志募金（敬称略・受付順）
38万1千101円

・匿名　4千150円
・六美町北部自治会有志一同　1万1千313円
・壬生町盆栽クラブ　1万円
・壬生郷友会　7万7千390円
・書道　弥生支部　3千円
・壬生小学校　3万1千899円
・稲葉小学校　9千683円
・㈱都庵　1万円
・壬生の灸（伊沢克明）　2千210円
・㈱ケイ・エル・エス　1万3千443円
・獨協医科大学病院看護部　10万円
・ガールスカウト栃木第18団　6万円
・壬生町商工会婦人部　1万6千537円
・壬生中学校生徒一同　3万円
・稲葉出張所募金箱　1千476円